

4 - 11 東海地方の微小地震の分布

(1981年5月1日～1981年10月31日)

Distribution of Microearthquakes in Tokai District
(May 1, 1981-October 31, 1981)

名古屋大学理学部
School of Science, Nagoya University

前報¹⁾にひきつづき1981年5月1日より1981年10月31日までの6か月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

第1図に1981年5月1日より1981年7月31日までの3か月間、第2図に1981年8月1日より1981年10月31日までの3か月間に名古屋大学中部、東海および高山地震観測所テレメータ観測網によって観測された微小地震の震央を深さ別に示す。深さ20 km以浅を地殻内地震、それ以深をフィリピン海プレートの地震とした。

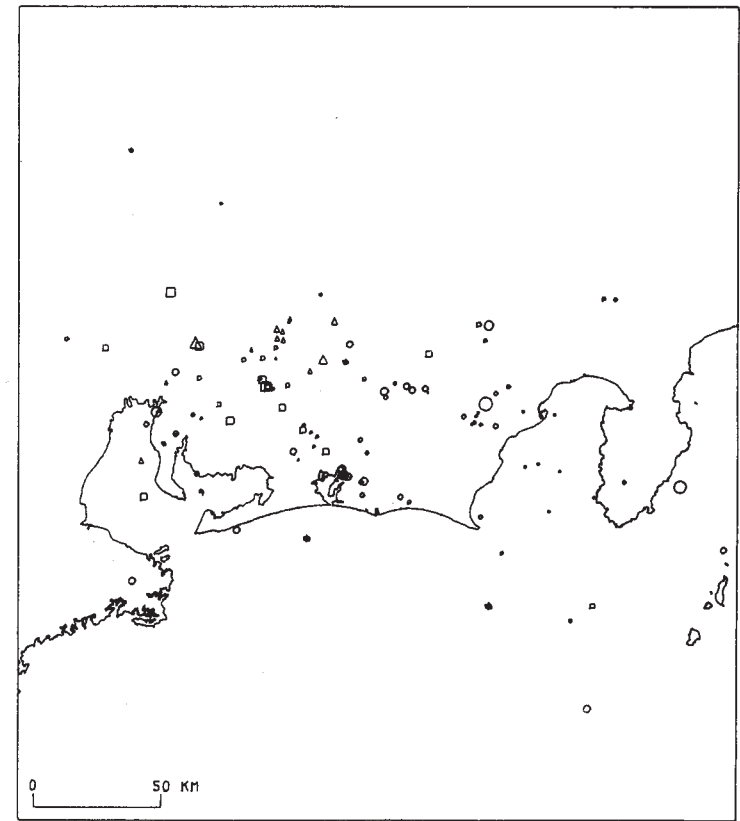
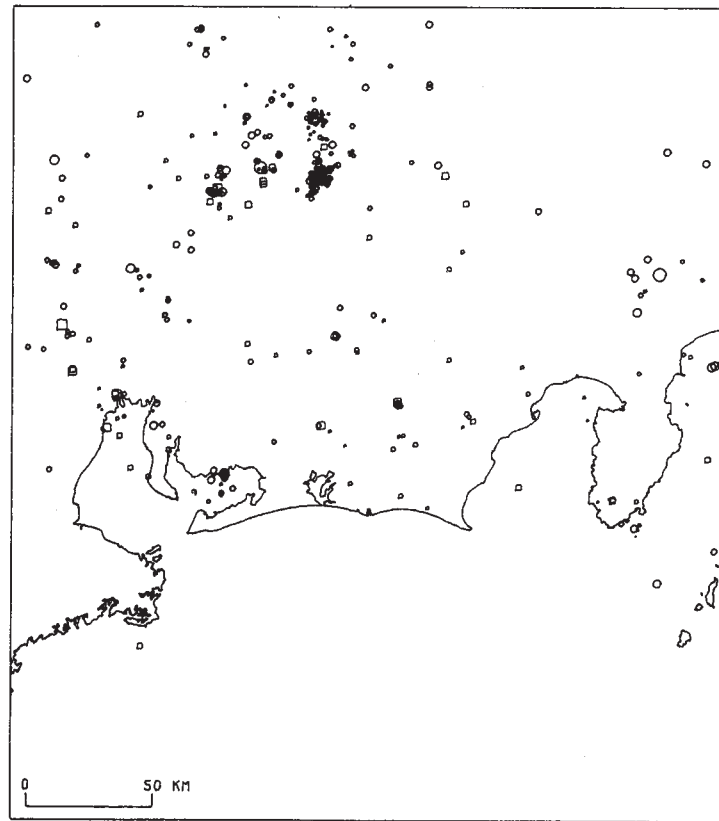
以下にその主な特徴を示す。

(1) フィリピン海プレートの地震については前報にくらべて全体としての地震数、活動域等に大きな変化は見られないが、1981年8月15日に掛川付近においてM 4.9、同月18日に長野-愛知県境付近においてM 5.1とやや大きな地震が発生したが、殆んど余震を伴わなかった。いずれも南北主圧力のストライクスリップ型の地震とおもわれる。

(2) 地殻内の地震について特に著しい活動はなかったが、8月11日名古屋直下でM 3.7の地震があり十数個の余震が観測された。王滝村付近の群発地震は活動度は低くなっているがまだ継続しており、周辺の活動もかなり活発である。特に9月3日より16日にかけて岐阜県白鳥付近に群発性の地震がありM 3以上が5回(最大M 3.7)観測された。

参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部：東海地方の微小地震の分布(1980年11月1日～1981年4月30日)
連絡会報, 26(1981), 201-202.



DEPTH 0 10 20 (KM)
○ □

MAG. 1 2 3 4
• ○ ○ ○

DEPTH 20 30 40 50 80 (KM)
○ □ △ ☆

MAG. 1 2 3 4
• ○ ○ ○

MAY 1 - JUL 31 1981

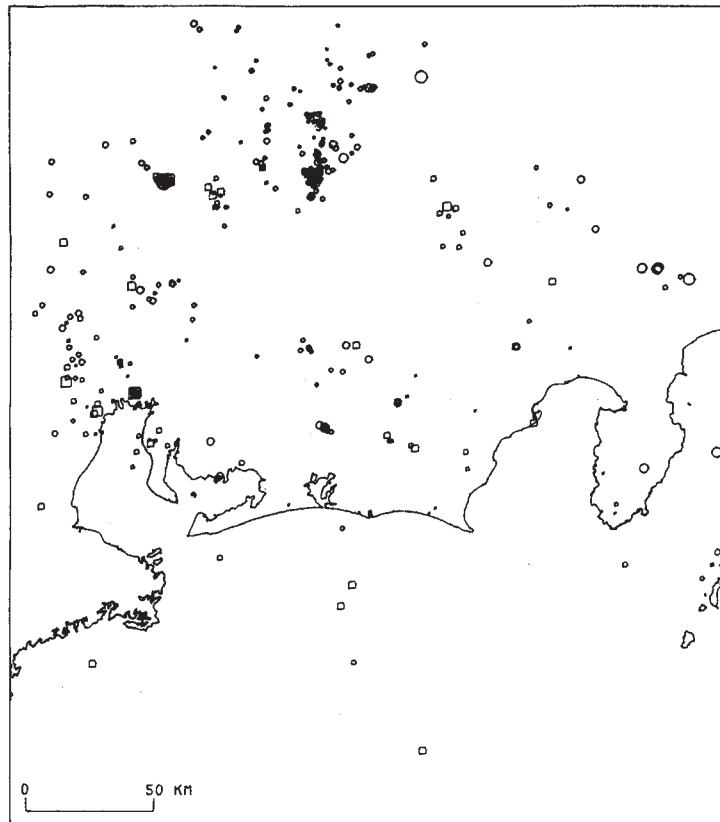
(NAGOYA UNIV)

MAY 1 - JUL 31 1981

(NAGOYA UNIV)

第1図 微小地震の分布 (1981年5月1日~1981年7月31日)

Fig. 1 Epicenter distribution of earthquakes (May 1, 1981-July 31, 1981).



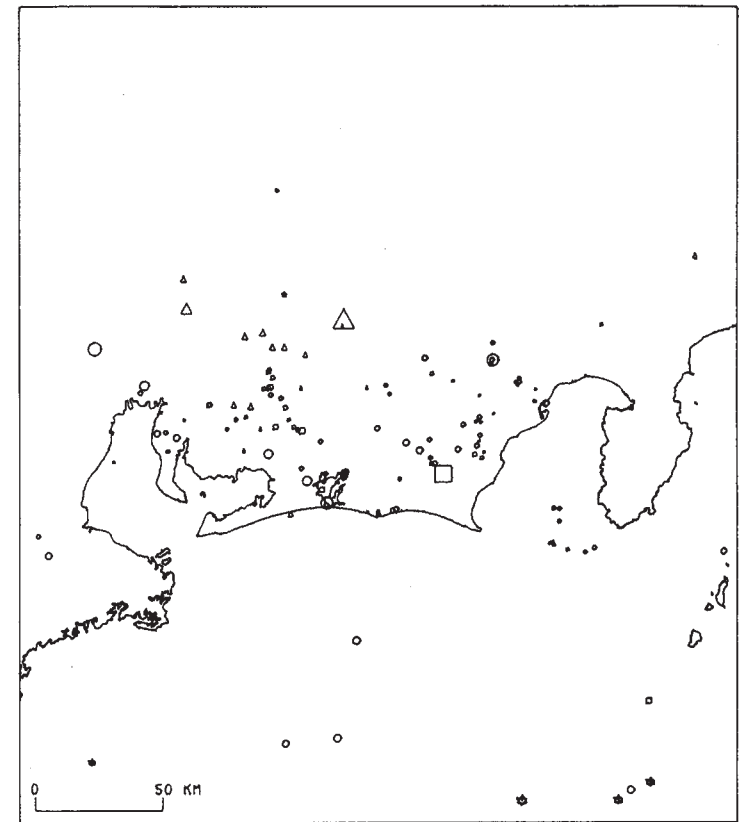
N=416

DEPTH 0 10 20 (KM) MAG. 1 2 3 4

○ □ • ○ ○ ○

AUG 1 1981 - OCT 31 1981

(NAGOYA UNIV)



N=126

DEPTH 20 30 40 50 80 (KM) MAG. 1 2 3 4

○ □ △ ☆ • ○ ○ ○

AUG 1 1981 - OCT 31 1981

(NAGOYA UNIV)

第2図 微小地震の分布 (1981年8月1日~1981年10月31日)

Fig. 2 Epicenter distribution of earthquakes (August 1, 1981-October 31, 1981).